

第8回都市水害に関するシンポジウム  
講演論文集

Proceedings of the 8<sup>th</sup> Symposium on  
Urban Flood Disasters  
(Nov. 21, 2009)

平成21年11月21日  
九州大学医学部百年講堂

主催 (社) 土木学会西部支部  
地域防災研究会

## 緒 言

水災害が世界的に深刻な問題となっています。わが国においても、1999年・2003年福岡水害、2004年新潟・福島豪雨災害、2005年宮崎水害、2006年鹿児島県北部豪雨災害、2008年「ゲリラ豪雨」による神戸市都賀川の鉄砲水、岡崎市の記録的な豪雨による氾濫災害など水災害が毎年のように頻発しています。本年においても、7月の中国・九州北部豪雨、8月の台風9号来襲に伴う豪雨が各地で発生し大きな被害をもたらしました。

福岡都市圏の場合、御笠川が1999年と2003年の短期間に2回も洪水氾濫を引き起こしました。また本年7月の中国・九州北部豪雨災害では、福岡都市圏を流れる那珂川、樋井川などにおいて洪水氾濫が発生しました。いずれも、急激な降雨に対応して、急激な洪水流出と河川水位上昇をもたらし、氾濫に至ったものでした。一部において防災関係機関の対応は遅れ、水害に対する“危機管理”の難しさがあらためて認識されました。

いずれの流域も比較的小流域であるため予測の余裕がありません。3度の水害は、ともに、比較的強い雨の降り始めから2～3時間で氾濫が発生しました。情報伝達、避難、浸水防御などの準備のための時間としては十分ではありません。従って、浸水防御、避難などの早急な準備を行うためには、降雨予測と被害予測を併行して行う必要があります。

土木学会西部支部では「浸水被害の早期警戒避難システム構築に関する調査研究委員会」（平成19～21年度）を設置し、福岡都市圏流域の河川を事例とし、観測点におけるリアルタイム降雨・水位情報と気象庁による降雨予測情報を併用した、浸水被害早期予測システム構築の可能性とその予測限界について気象学、地理情報学、河川工学の観点から検討するとともに、それに基づいた予測情報の提供および避難システムのあり方について交通工学、人文社会科学の観点から検討を行っています。

一方、土木学会西部支部は、1999年福岡水害を契機として「都市水害に関するシンポジウム」を毎年開催し、特に発生頻度が高い中小都市河川の水害について、最新の研究成果を紹介するとともに、その対策について参加者とともに考えてまいりました。今回のシンポジウムは、調査委員会を公開する形で実施するもので、19、20年度は降雨予測と洪水予報、地下空間の氾濫解析、情報伝達、避難のあり方などを中心とし、本年度は、洪水氾濫の予警報システム、浸水予測結果の2次元・3次元表示システム、防災情報提供のあり方、豪雨災害時の地域住民の避難行動などを主要テーマとして発表と討議を行うものです。

平成21年10月29日

橋本 晴行

## 土木学会西部支部調査研究委員会

委員長	橋本 晴行	九州大学大学院工学研究院・准教授
	疋田 誠	鹿児島工業高等専門学校・特任教授
	村上 啓介	宮崎大学工学部・准教授
	榎村 康史	熊本大学大学院自然科学研究科・教授
	多田 彰秀	長崎大学工学部・教授
	守田 治	九州大学大学院理学研究院・准教授
	角 知憲	九州大学大学院工学研究院・教授
幹事	梶田 佳孝	九州大学大学院工学研究院・助教
幹事	西山 浩司	九州大学大学院工学研究院・助教
	池松 伸也	九州大学大学院工学府・技術専門職員
	松永 勝也	九州産業大学情報科学部・教授
	横田 尚俊	山口大学人文学部・教授
	戸田 圭一	京都大学防災研究所・教授
	横枕 篤	福岡県河川課長
	坂本 秀和	福岡市防災・危機管理課長
	宇城 輝	国際航業株式会社・主任
	山崎 祐一	日本工営（株）・担当課長
	中牟田 博	福岡地下街開発（株）・防災センター所長
	北野 真広	八千代エンジニアリング（株）・副部長
	日下部正昭	第一復建（株）・係長
	小林 博昭	西日本技術開発（株）・防災情報グループリーダー
	空 かおり	（株）建設環境研究所・研究員
	中島 隆信	（株）建設技術研究所・次長
	福元秀一郎	（株）東京建設コンサルタント・部長代理
	糠塚 昌文	（株）パスコ・部長
	若狭 聡	パシフィックコンサルタント（株）・技術部長
オブザーバー：		
	松本 積	気象庁福岡管区气象台予報課・課長
	吉武 範幸	福岡県河川課企画調査係長
	園田 雅樹	福岡県河川課企画調査係主任技師
	山内 将行	福岡市防災・危機管理課
	池邊 浩司	（株）パスコ・専門課長
	山中健二郎	八千代エンジニアリング（株）・担当課長

## 目 次

1. 「2009年7月の九州北部における豪雨の特徴（速報）」  
.....松本 積 1
2. 「2009年7月福岡都市圏流域において発生した豪雨災害（速報）」  
.....橋本晴行・齋藤美咲 9
3. 「川内川の洪水解析と洪水避難地図の改善」  
.....疋田 誠・萬 運・萩木場一水 15
4. 「吉野川流域における衛星降雨の降雨特性分析」  
.....白石芳樹・猪股広典・深見和彦 23
5. 「豪雨時における氾濫予測情報の提供システムについて」  
.....福元秀一郎・早田研二・時任和宏 27
6. 「氾濫予測情報の簡便な画像表示システム」  
.....糠塚昌文・間野耕司・池邊浩司 33
7. 「豪雨災害における地域住民の避難行動とその特質」  
.....横田尚俊 39